

# タカシマ

## 「できるいふ」を形に

久里浜の歯科医がボランティア呼びかけ

東日本震災から半年。IMINET(日本イラク募金やボランティアの活動)が広がり、様々な場面で「できること」を繋げている。被災地へボランティアに赴いた巻幡真直さんもその一人だ。「何かできないか」と今年4月、現地(石巻)でボランティアを問い合わせた際、歯科医であること

をきっかけに医療チーム「J」のボランティアを問い合わせた

こと。5月、医療班として医療機器や入れ歯ケースなどを携え、初めて石巻に入った。

入れ歯の調整などのボランティアに加え、避難所のお風呂「希望の湯」での活動

も加わった。以降、毎月仕事をきつかけに医療チーム「J」のボランティアを縫って石巻に赴

く。そこで感じたのは、支援体制の変化への対応と継続の必要性だという。

そのひとつが、福島の子

どもたちへの支援活動だ。

JIMINETでは、夏休みに「ふくしま子どもリフレッシュサマーキャンプ」

を実施。「ストレスを抱える

と虫歯が増えると言われ

る。まずは歯科を通して、

メンタルの部分でも支援し

ていきたい」と巻幡さん。

今後は福島での活動にシフトし、**横須賀を中心とした**

**地域でのボランティアチ**

**ムを作り「できることを形**

**にしていきたい」と話して**

**いる。**

活動に関する問い合わせ

は**マリン歯科**046・8

33・3838へ。



「被災者の温かさ」に胸がまる思いだった」と巻幡さん



同院では支援Tシャツの販売も行っている(2,500円のうち1,000円が寄付となる)

その後、「大好き日本お助け歯隊」というボランティア団体を結成。現在は、少しずつ活動ははじめています。